

－ 農の雇用事業による取組事例 －

富山県富山市 有限会社グリーンパワーなのはな

- 平均年齢33歳の若い組織の中、地域の中核農業集団として積雪地帯で冬期作業に取り組み、年間雇用を実現。
- 日々の作業を定量的に示し、朝礼で進捗を共有するなど「仲間」と協働できる環境整備により、若手従業員の定着を推進。

(有)グリーンパワーなのはなの概要

【設立】平成8年7月

【代表者】松井 正次

【売上】27,000万円

【事業内容】水稲、大豆中心の農地全面受託

【経営面積】水稲217ha、大豆25ha、野菜花卉3ha等(総受託面積328ha)

【従業員数】正社員14人

【所在地】富山県富山市水橋上桜木107

【ホームページ】<http://gp-nanohana.com/>

【会社の特徴】・「将来にわたり安心して農地を預けられる組織」との地域の要望に応え、JA出資法人として水稲、大豆を中心に農地の全面受託を展開。野菜・花卉栽培等へと品目を広げ経営多角化を推進。

研修・人材育成の取組内容

【研修概要】

- ・研修1年目は、水稲・大豆・野菜・花卉等の栽培に加え農業機械による作業や防除体系等の立案を通じ、栽培技術の基礎を身につけます。
- ・研修2年目は、栽培技術の向上と併せ、5か所の無人直売所への出荷・陳列作業や、健康食として注目を集める古代米(赤米・黒米)のネット販売用に調製・袋詰め作業等も行っています。

【雇用就農者の定着に向けた特徴的な取組】

- ・冬期間は積雪のため作業が少なく、これまで従業員の年間雇用が困難でしたが、経営発展には従業員の定着による経験の積み重ねが必要であり、年間雇用の実現は重要な課題でした。
- ・このため、①冬野菜の栽培等の冬期作業を創出し、年間雇用に繋げる②若手従業員を積極的に採用し技術等の積み重ねを図る③毎日の作業面積、作業量を「見える化」し年間作業を調整する④従業員を定期採用できる経営計画を作ることを目指しました。
- ・日々の作業実績を作業面積や作業量で定量的に集計・掲示し、毎日の朝礼で進捗状況を全員で共有。「仲間」と協働できる環境を提供することで、若手従業員の定着が進んでいます。

【雇用就農者の定着に向けた今後の取組】

- ・若手従業員が単なる「仲良し」では、作業効率が上がらず経営も成り立たないため、OJTを通して共通の目的意識を持った集団となるよう従業員の資質向上を図っています。

キャリアプランイメージ

農の雇用事業でのOJT(2年)

- ・基礎的な栽培管理技術の習得
- ・ネット販売用調整・袋詰め作業の習得

職場リーダー(4年目～)

- ・担当職務グループの人員・作業進捗管理

部門責任者(6年目～)

- ・担当農場での計画の立案・管理
- ・生産資材等の注文・管理

